







わが家の緊急連絡先

名前	緊急連絡先	名前	緊急連絡先

● **情報の入手先** テレビ、ラジオ、防災行政無線、広報車の他に以下の情報が入手ができます。

種類	入手できる情報
電話	防災行政無線テレホンサービス 電話番号【66-1127】
スマートフォン	大野市公式LINE 
登録制 メールサービス	大野市防災メール 気象の特別警報や災害時の避難情報などが配信されます。 
	Yahoo! 防災速報 https://emg.yahoo.co.jp/ 
webサイト	気象庁 (大野市の気象警報・注意報)  https://www.jma.go.jp/jp/warn/f_1820500.html
	気象庁 (大雨警報の危険度分布)  https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/meshjirei/jirei01/suigaimesh/inund.html
	福井地方気象台  http://www.jma-net.go.jp/fukui/main/index.html
	福井県防災ネット  https://www.bousai.pref.fukui.lg.jp/dis_portal/index.html#
福井県河川・砂防総合情報  http://ame.pref.fukui.jp/index.html	
越前おおの結まっぷ  インターネットの地図で、避難所等を確認できます。	

緊急連絡先

名称	連絡先	名称	連絡先
消防・救急	(局番なし) 119	警察	(局番なし) 110
大野市役所	66-1111	北陸電力送配電(株) 奥越配電センター	66-4478
福井県奥越土木事務所	66-1221	NTT西日本(電話故障)	(局番なし) 113
国土交通省 九頭竜川ダム統合管理事務所	66-5300	※携帯電話または市外からは市外局番(0779)をつけておかけください。	

災害用伝言ダイヤル(171) 災害時にNTTから提供される「声の伝言板」です。

伝言の録音

→ 171 → 1 → □□□□-□□-□□□□ →

ガイダンス(説明)がながれます。 被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュ。

伝言の再生

→ 171 → 2 → □□□□-□□-□□□□ →

30秒以内
伝言を入れる(聞く)

災害用伝言ダイヤル(171) 体験利用提供日

- 毎月1日、15日 0:00~24:00
- 正月三が日(1月1日0:00~1月3日24:00)
- 防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- 防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

災害用伝言板(web171)

インターネットでも登録・確認できます。
<https://www.web171.jp> にアクセスしてください。

災害用伝言板(web171) 🔍 検索

各社の災害用伝言板
サイトアドレス

NTTドコモ 

au 

ソフトバンク 



発行：大野市企画総務部防災防犯課
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
TEL:0779-64-4800 FAX:0779-66-7708
大野市ホームページ <http://www.city.ono.fukui.jp/>

作成：2020年10月



大野市 総合防災マップ

ハザードマップ

保存版



昭和38年豪雪(元町)

昭和40年土砂崩れ(西勝原)

平成16年福井豪雨(中野)

平成18年7月水害(中野)

昭和40年河川と化した道路(柿ヶ嶋)

平成16年福井豪雨(中野)

昭和56年自衛隊救援活動

平成30年なだれ(仏原)

**ひごろの備えと
早めの避難を!
お隣やご近所にも
声を掛け合って!!**

わが家の避難方針

災害時に備え、ハザードマップを確認したうえで下線部分に必要な事項を記入し、家族で共有しておきましょう。

風水害	地震
台風が接近したり、大雨の予報があれば、テレビ・ラジオ・インターネットなどで情報収集をします。	緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたら、自分の身を守る行動をとります。
風水害に関する情報収集し、危険を感じたり、避難情報を入手したら、 <input type="checkbox"/> 自宅に待機し、状況に応じて垂直避難します。 (※むやみに外出せず、情報収集に努める) <input type="checkbox"/> _____へ水平避難します。	命の危険がある場合は、 _____へ水平避難します。
避難所等	指定緊急避難場所
水平避難の途中で危険を感じたら、 _____へ緊急的に垂直避難します。	家が被災し、生活が困難の場合は、 _____へ避難します。
避難所等	避難所等
水平避難の途中で危険を感じたら、 _____へ避難します。	避難所等
別の避難所等	避難所等

● ハザードマップの活用方法

ハザードマップの見方

次の3つが確認できれば安全を確保しながら自宅に留まることも可能です。

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていないか
入っている場合は、避難が必要です

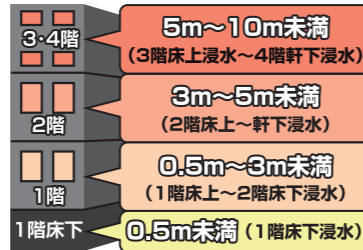


氾濫流が想定される区域では、流速が早い
ため、木造家屋は倒壊
するおそれがあります



河岸侵食が想定される
区域では、地面が削ら
れ家屋は建物ごと崩落
するおそれがあります

② 居室は想定される最大浸水深
より高いか
居室が低い場合は、
避難が必要です



③ 浸水継続時間を確認し、
水が引くまでの飲料水
や食料などを準備する



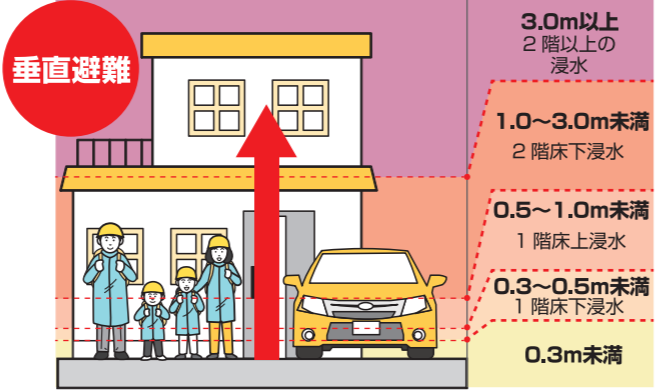
長期にわたる浸水が想定
される区域は、ライフラインが
絶たれることにより避難生活が
困難となるおそれがあります

(参考として、表紙にある過去の災害発生状況もご確認ください)

避難の原則 自身がおかれた状況に応じて自らの判断で避難行動をとること

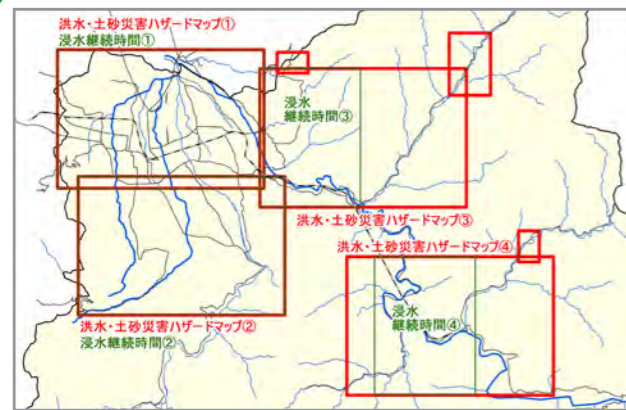
水平避難
と
垂直避難

- 避難の基本は避難所等へ移動する水平避難ですが、すでに外が危険な場合や夜間の避難は、建物の上階に避難する垂直避難という方法もあります。
- ただし、浸水深が深い区域、家屋倒壊等氾濫想定区域などの「早期の立退き避難が必要な区域」にお住まいの方は、家に留まっても安全が確保できないおそれがあるため、早期に避難所等の安全な場所に速やかに水平避難してください。
- 土砂災害のおそれのある区域も水平避難が基本ですが、土砂災害の危険があり、屋外への移動が危険な場合で、十分堅牢なマンションなどの上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。逃げ遅れた場合は、上階へ移動しましょう。



※大野市の浸水深の目安

● ハザードマップ位置図



このハザードマップでは、洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域等、なだれ危険箇所、ため池浸水想定区域、地震被害想定結果などの災害のおそれのある区域などを掲載しています。

上記のハザードマップの見方を参考に大雨時などの災害発生のおそれのある場合や災害時にとるべき行動を考えておきましょう。

● 避難所等一覧
指定避難所

○…使用可能施設 2F…浸水が予想されるが、2階以上が避難可能
△…ダム の緊急放流時には使用不可 ×…使用不可

災害が発生したときに、住民が災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在、または自宅へ戻れない住民等が一時的に滞在する施設。 ※すべての避難所が開設されるとは限りません。市の避難情報を確認してください。

施設名	TEL	風水害	土砂災害	なだれ	地震
学びの里「めいりん」	65-5590	○	○	×	○
まちなか交流センター	64-4817	×	○	○	○
有終南小学校	65-6690	○	○	○	○
有終東小学校	65-6550	2F	○	○	○
開成中学校	65-4680	○	○	○	○
文化会館	66-5410	2F	○	○	×
職業訓練センター	65-6840	2F	○	○	○
エキサイト広場総合体育施設	66-1433	2F	○	○	○
下庄公民館	66-2142	○	○	○	○
下庄小学校	66-2350	○	○	○	○
陽明中学校	65-1121	○	○	○	○
青少年教育センター	66-6650	2F	○	○	○
乾側公民館	66-3756	2F	○	○	○
乾側小学校	-	×	○	○	×
小山公民館	66-2468	○	○	○	○
小山小学校	66-2910	○	○	○	○
上庄公民館	64-1200	2F	○	○	○

施設名	TEL	風水害	土砂災害	なだれ	地震
上庄小学校	64-1331	2F	○	○	○
上庄中学校	64-1300	○	○	○	○
B&G 海洋センター	64-1311	2F	○	○	○
富田公民館	66-4101	○	○	○	○
富田小学校	66-4150	○	○	○	○
尚徳中学校	66-4151	○	○	○	○
旧藤生小学校	66-4120	○	○	○	○
ぶるー夢森目	66-7739	○	○	○	○
阪谷公民館	67-1111	○	○	○	○
阪谷小学校	67-1012	○	○	○	○
六呂師自然楽舎	67-1210	○	○	○	○
五箇公民館	65-6805	△	○	×	○
(仮称)和泉地域ふれあい交流センター	-	△	×	×	○
和泉小中学校	78-2656	△	×	×	○
大納地区集会施設	-	○	×	×	○
和泉体育館	78-2351	○	×	×	×

※携帯電話または市外からは市外局番(0779)をつけておかけください。

指定避難所(予備施設)

施設名	TEL	風水害	土砂災害	なだれ	地震
あっ宝んど	66-7900	×	○	○	○
スターランドさかだに	67-7250	○	○	○	○
ミルク工房 奥越前	67-1166	○	○	○	○

施設名	TEL	風水害	土砂災害	なだれ	地震
和泉ふれあい会館	78-2300	△	×	×	○
フレアール和泉	78-2536	2F	×	○	○

※施設管理者と協議を行い開設します。

福祉避難所

障がい者や高齢者、妊産婦、乳幼児などの要支援者らの受け入れが可能な、特別の配慮がなされた避難所。

施設名	TEL	風水害	土砂災害	なだれ	地震
福井県済生会聖和園	66-3307	○	○	○	○
大野和光園	66-2551	○	○	○	○
ビハーラ大野	66-1850	○	○	○	○
大野荘	66-3320	○	○	○	○
むつみ園	65-3761	○	○	○	○

施設名	TEL	風水害	土砂災害	なだれ	地震
希望園	66-1133	○	○	○	○
大野保健センター(有終会館内)	65-7333	○	○	○	○
厚生会ほほえみネットワークくら	69-7090	○	○	○	○
県民せいきょう大野きらめき	66-1211	○	○	○	○

※社会福祉施設管理者等と協議を行い開設します。

指定緊急避難場所

地震などの災害の危険から命を守るために緊急的に避難をする場所。

施設名	風水害	土砂災害	なだれ	地震
山王公園	×	○	○	○
神明公園	×	○	○	○
三角公園	×	○	○	○
駅東公園	×	○	○	○
春日公園	×	○	○	○
弥生公園	×	○	○	○
寺前公園	×	○	○	○
陽明公園	×	○	○	○
荒井公園	×	○	○	○
さくら公園	×	○	○	○
中挾公園	×	○	○	○
清和公園	×	○	○	○
美里公園	×	○	○	○
吉野公園	×	○	○	○
資母郷公園	×	○	○	○
右近次郎公園	○	○	○	○
きよたき公園	×	○	○	○
中ノ堂公園	×	○	○	○

施設名	風水害	土砂災害	なだれ	地震
若杉公園	×	○	○	○
東中公園	×	○	○	○
さいわい公園	×	○	○	○
有終公園	○	○	○	○
明治公園	×	○	○	○
亀山公園	○	×	×	○
水アビト公園	×	○	○	○
滝ヶ花公園※調整池兼用	△	○	○	○
東中野公園	×	○	○	○
三番ポケットパーク	×	○	○	○
本願清水公園	×	○	○	○
木瓜川緑地	×	○	○	○
中野清水緑地	×	○	○	○
奥越ふれあい公園	○	○	○	○
義景公園	×	○	○	○
茜公園	×	○	○	○
道の駅「越前おおの荒島の郷」※	○	○	○	○

※令和3年度開駅予定

● 大雨時の行動

■ ひごろから、家族で話し合っておくこと

ハザードマップで自宅とまわりを確認

色が塗られている場所は
災害の危険があります。

自宅があるところには色
が塗られていますか？
避難が必要ですか？



いいえ

自宅に留まる

「避難」とは「難」を「避」けることです。
安全な場所にいる人は、**避難所等に行く必要はありません**。安全が確保された
自宅に留まることで感染症の危険から身を守ること
もできます。

屋内で安全確保
(垂直避難)



はい

いつ、どこへ避難？

浸水が想定されている区域では、自宅などを離れる水平避難が基本です。いつでも
避難するかを整理しておきましょう。基本は、避難所等への避難となりますが、場合
によっては災害の影響のない知人宅等への避難も選択肢になります。

自分または一緒に避難する方は、避難するのに時間がかかりますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

災害時の避難先を事前に決めておきましょう。

避難行動	避難所等	短所	・感染症対策が必要 ・ペットの対応が難しい ・犯罪対応が必要 など	※短所を確認し、可能であれば複数の避難について検討しましょう。 ※感染症対策としてホテル、車中避難やテント避難も選択肢となる場合があります。
	自宅	短所	・備蓄品が必要 ・最新の情報が手に入りにくい ・浸水が長期化した場合、生活環境が悪化する など	
	親戚宅	短所	・長期間の避難は迷惑 ・移動が必要 など	

避難所等での感染症対策

- 避難所等へ向かう際は、体温計の持参とマスクを着用しましょう。
- 避難所等では、頻りに手洗いをする等、基本的な感染症対策を徹底しましょう。

■ 避難前に集めておく情報

自ら情報を収集し、 避難を判断する

- 避難情報
- 気象情報
- 土砂災害警戒情報
- 河川水位情報
- ダム放流情報



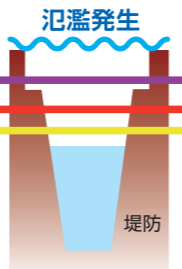
避難は災害発生前に 二人以上で原則徒歩で避難

夜間の避難は足元が見えずに危険なため、
暗くなる前に移動を完了しましょう。

河川の水位情報



- 氾濫危険水域** 氾濫の起こるおそれがある水位
- 避難判断水位** 住民のみなさんが避難を判断する水位
- 氾濫注意水位** 氾濫に関する情報に注意する水位



河川	九頭竜川	清滝川	赤根川	石徹白川
観測所	松丸	南新在家	大橋	貝皿
氾濫危険水域	5.00m	2.80m	3.00m	5.00m
避難判断水位	—	2.00m	2.50m	—
氾濫注意水位	4.00m	1.50m	2.20m	3.00m
水防団待機水位	3.00m	1.20m	1.90m	1.40m

● 大雨時の防災情報

■ 危険度分布で、お住まいの地域の状況を確認しましょう

気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報*が出されたら、お住まいの地域の状況が詳細にわかる
情報(危険度分布)を確認してください。紫色は危険度が高いことを示しています。

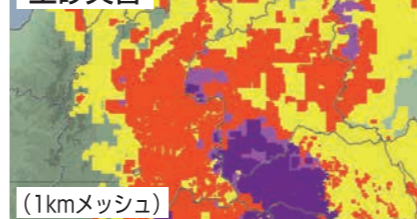
住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的に
スマートフォンなどに通知される「危険度分布通知サービス」もあり
ますので、活用してください。

危険度分布

検索

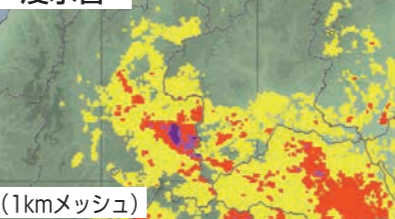


土砂災害



(1kmメッシュ)

浸水害



(1kmメッシュ)

洪水



紫：崖・渓流の近くは危険

紫：低地は危険

紫：河川沿いは危険

*市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警戒情報、土砂災害警戒情報、大雨警戒情報、洪水警戒情報などがあります。

■ 防災気象情報に注意しましょう

※警戒レベルは1～5の順番で発表になるとは限りません。

警戒レベル	取るべき行動	大野市が出す 避難の情報	気象庁が出す 雨の情報	国土交通省などが出す 川の情報
レベル5	命を守る行動 ・既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保	大雨特別警戒	氾濫発生情報
レベル4	危険な場所から全員避難 ・速やかに避難する。 ・命を守る避難行動をとる。	避難指示	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
レベル3	高齢者等は避難 ・高齢者等(避難行動に時間を要する方)は、避難行動をとる。 ・その他の方は避難行動の準備をする。	高齢者等避難	大雨警戒 洪水警戒	氾濫警戒情報
レベル2	避難方法の確認 ・ハザードマップなどにより災害リスク、避難所等や避難経路、避難のタイミングなどを再確認する。 ・避難情報の把握手段を確認する。		大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報
レベル1	災害への心構えを高める ・防災情報などの最新情報に注意する。			

※避難情報は変更になる場合があります。最新の情報は、ホームページ等を確認ください。

● 雨の降り方と強さ(1時間あたり)

やや強い雨 10～20mm未満



話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

強い雨 20～30mm未満



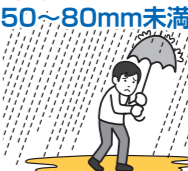
土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小さな河川なら、氾濫・がけ崩れの心配もあります。

激しい雨 30～50mm未満



山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。

非常に激しい雨 50～80mm未満



滝のように雨が降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。傘が全く役に立たなくなる激しい雨です。

猛烈な雨 80mm以上



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大雨による大きな災害が起こるおそれがあります。厳重な注意が必要です。

洪水・土砂災害ハザードマップ① (1000年に一度程度の「想定最大規模」降雨の洪水浸水想定区域図です)

- 市役所
- 消防
- ふくいのおいしい水 (湧水地)
- 警察
- 救急病院
- 指定避難所
- 福祉避難所

- 雨量観測所
- 水位観測所
- 河川監視カメラ
- 重要水防区域
- たため池浸水想定区域

- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)
- なだれ危険箇所

0 500 1,000m
1:25,000

このハザードマップは、洪水や土砂災害のおそれのある区域等を示しています。1ページのハザードマップの見方を参考に自宅等の災害リスクを確認し、災害時に必要な行動を確認してください。

洪水浸水想定区域図

水防法に基づき、洪水予報河川および水位周知河川において、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域と浸水深、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域を表示した図面です。

水害リスク図

洪水予報河川および水位周知河川以外の河川が、氾濫した場合に浸水が想定される区域と浸水深等を表示した図面です。

なだれ危険箇所について

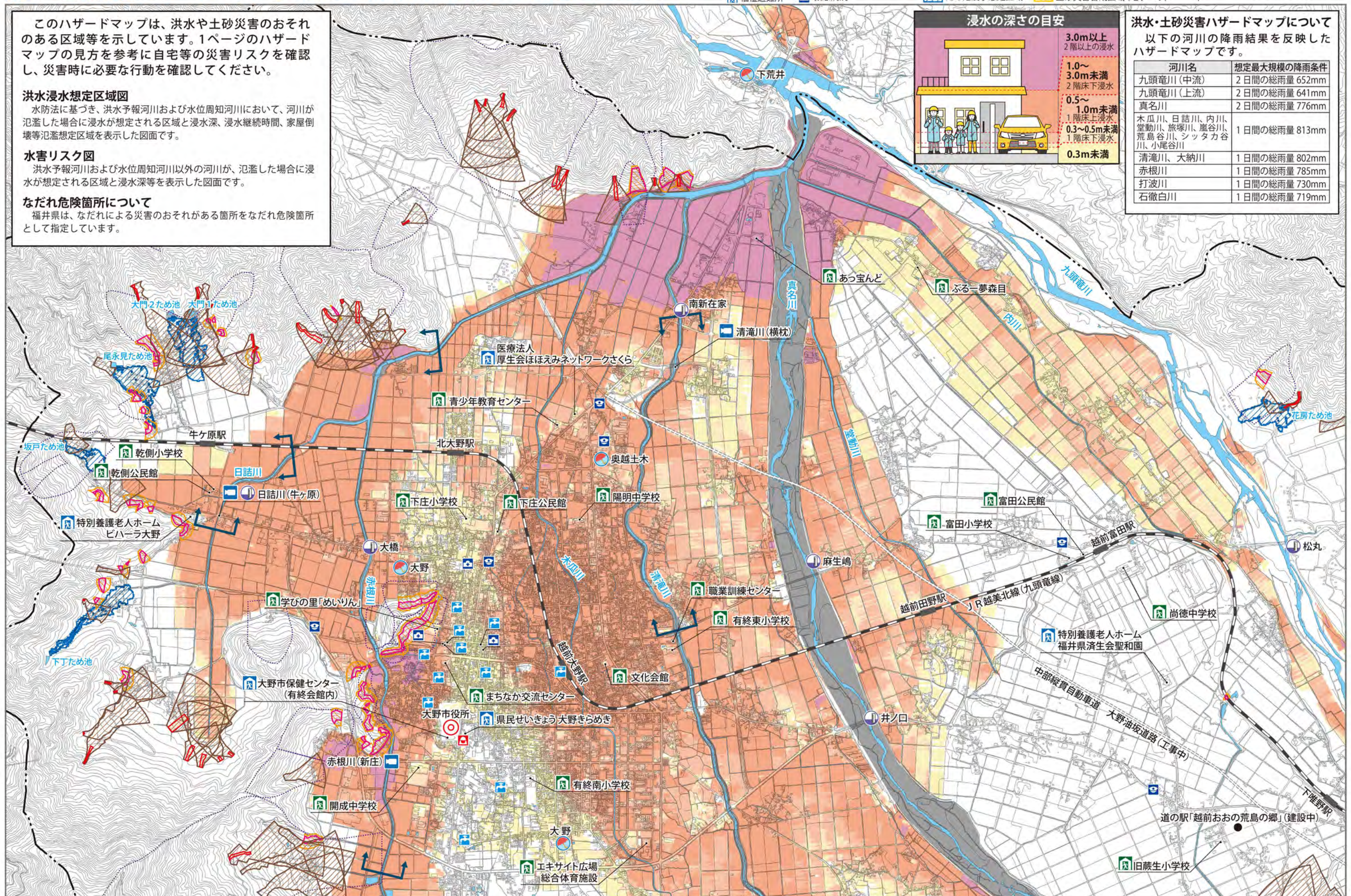
福井県は、なだれによる災害のおそれがある箇所をなだれ危険箇所として指定しています。

浸水の深さの目安

- 3.0m以上**
2階以上の浸水
- 1.0~3.0m未満**
2階床下浸水
- 0.5~1.0m未満**
1階床上浸水
- 0.3~0.5m未満**
1階床下浸水
- 0.3m未満**

洪水・土砂災害ハザードマップについて
以下の河川の降雨結果を反映したハザードマップです。

河川名	想定最大規模の降雨条件
九頭竜川(中流)	2日間の総雨量 652mm
九頭竜川(上流)	2日間の総雨量 641mm
真名川	2日間の総雨量 776mm
木瓜川、日詰川、内川、堂動川、旅塚川、嵐谷川、荒島谷川、シッタカ谷川、小尾谷川	1日間の総雨量 813mm
清滝川、大納川	1日間の総雨量 802mm
赤根川	1日間の総雨量 785mm
打波川	1日間の総雨量 730mm
石徹白川	1日間の総雨量 719mm



浸水継続時間① (水防法の規定により指定された浸水継続時間を表示した図面です)

浸水継続時間について

この地図では、浸水深が0.5mに達してからその水深を下回るまでにかかる時間を示しています。浸水継続時間の長い区域の方は、その期間を過ごすために必要な備蓄品などを準備してください。

水害リスク図では、洪水が発生した場合の浸水範囲や浸水深を確認できますが、河川によっては、浸水継続時間や家屋倒壊等氾濫想定区域を公表していない河川もあります。

浸水継続時間を公表している河川	浸水継続時間を公表していない河川
九頭竜川、真名川、清滝川(下流)、赤根川	清滝川(上流)、木瓜川、日詰川、内川、堂動川、旅塚川、打波川、嵐谷川、荒島谷川、シツカカ谷川、小尾谷川、大納川、石徹白川

家屋倒壊等氾濫想定区域について

堤防沿いの地域等において、河川の激しい流れによって地面が削られて起こる家屋倒壊や、激しい氾濫流で起こる家屋倒壊が発生するおそれが高い区域です。

浸水継続時間

- 1日～3日未満
- 12時間～1日未満
- 12時間未満

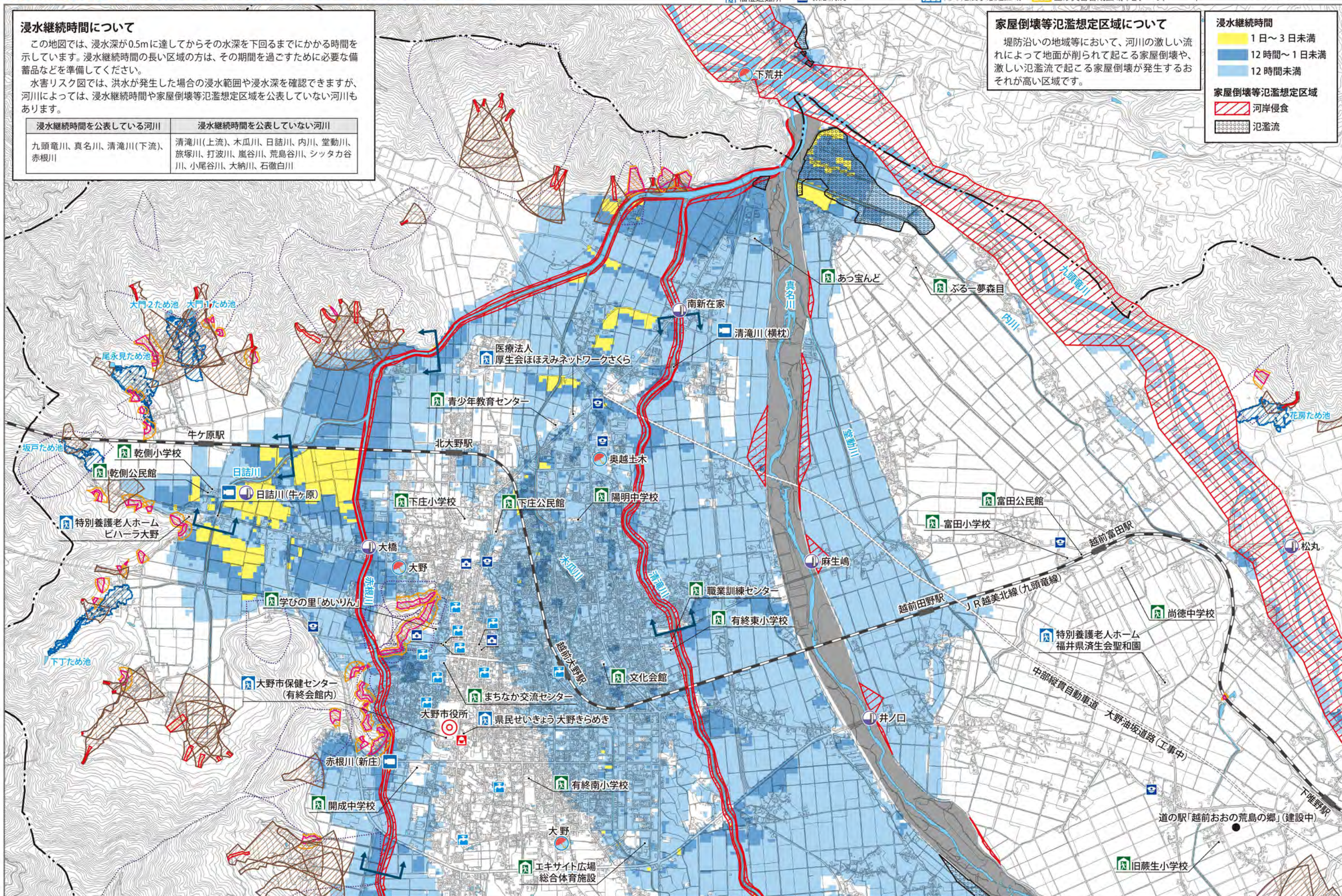
家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

市役所 消防 ふくいのおいしい水(湧水地) 警察 救急病院 指定避難所 福祉避難所 雨量観測所 水位観測所 河川監視カメラ 重要水防区域 ため池浸水想定区域 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊) 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊) 土砂災害特別警戒区域(土石流) 土砂災害警戒区域(土石流) 土砂災害警戒区域(地すべり) なだれ危険箇所

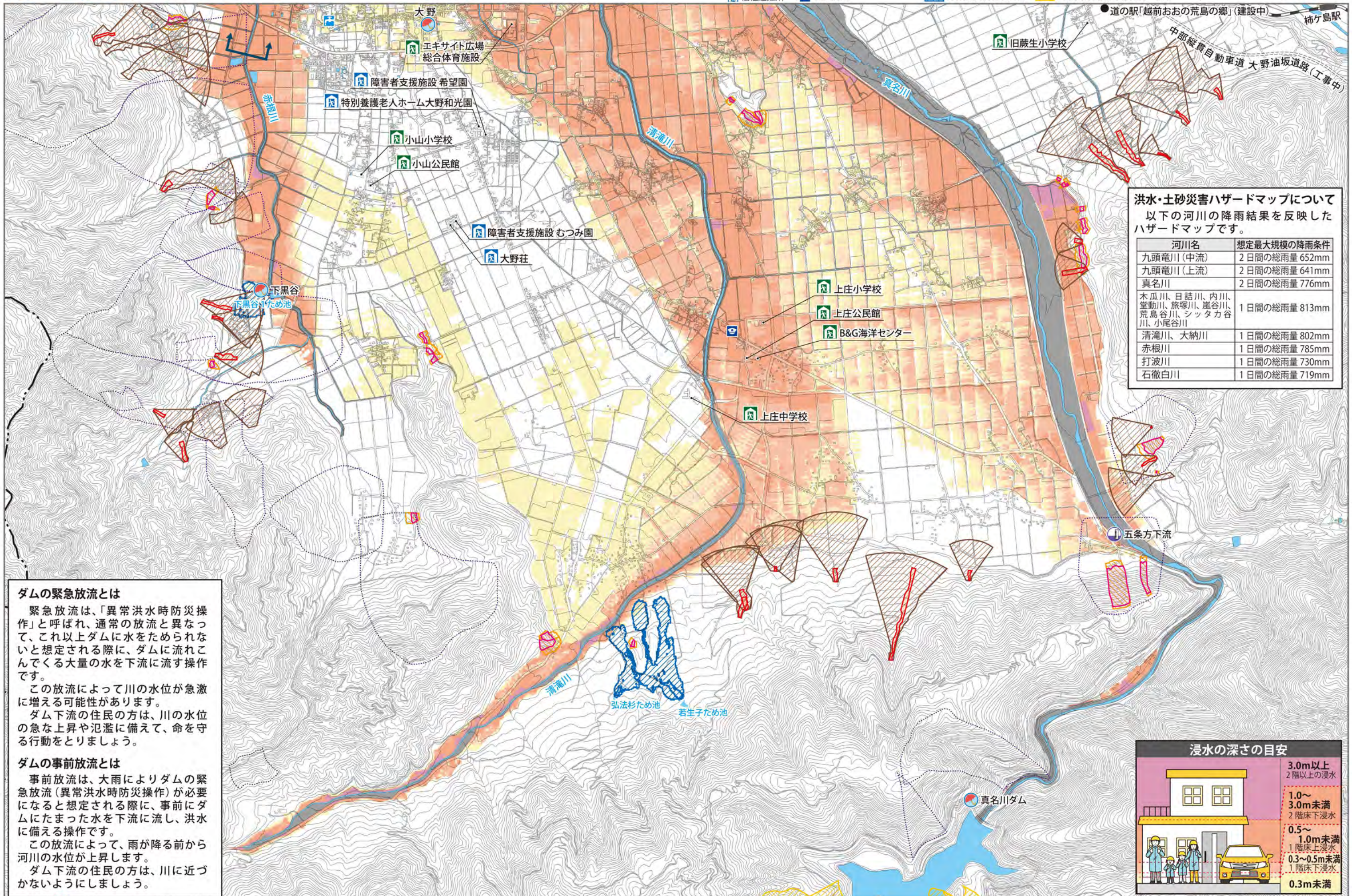
0 500 1,000m

1:25,000



洪水・土砂災害ハザードマップ② (1000年に一度程度の「想定最大規模」降雨の洪水浸水想定区域図です)

● 市役所 ● 雨量観測所 ■ 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊) ○ なだれ危険箇所
● 消防 ● 水位観測所 ■ 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊) ○ 500 1,000m
● ふくいのおいしい水(湧水地) ● 河川監視カメラ ■ 土砂災害特別警戒区域(土石流) ○ 1:25,000
● 警察 ● 重要水防区域 ■ 土砂災害警戒区域(土石流) ○ 0
● 救急病院 ● ため池浸水想定区域 ■ 土砂災害警戒区域(地すべり) ○ 500 1,000m

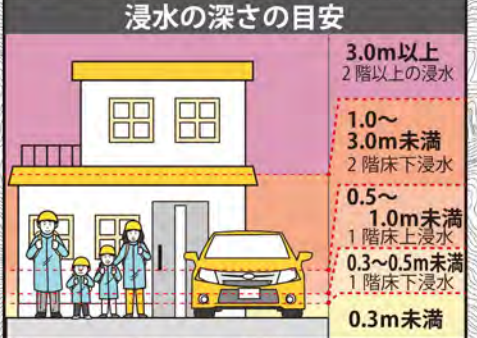


洪水・土砂災害ハザードマップについて
以下の河川の降雨結果を反映したハザードマップです。

河川名	想定最大規模の降雨条件
九頭竜川(中流)	2日間の総雨量 652mm
九頭竜川(上流)	2日間の総雨量 641mm
真名川	2日間の総雨量 776mm
木瓜川、日詰川、内川、堂動川、旅塚川、嵐谷川、荒島谷川、シッタカ谷川、小尾谷川	1日間の総雨量 813mm
清滝川、大納川	1日間の総雨量 802mm
赤根川	1日間の総雨量 785mm
打波川	1日間の総雨量 730mm
石徹白川	1日間の総雨量 719mm

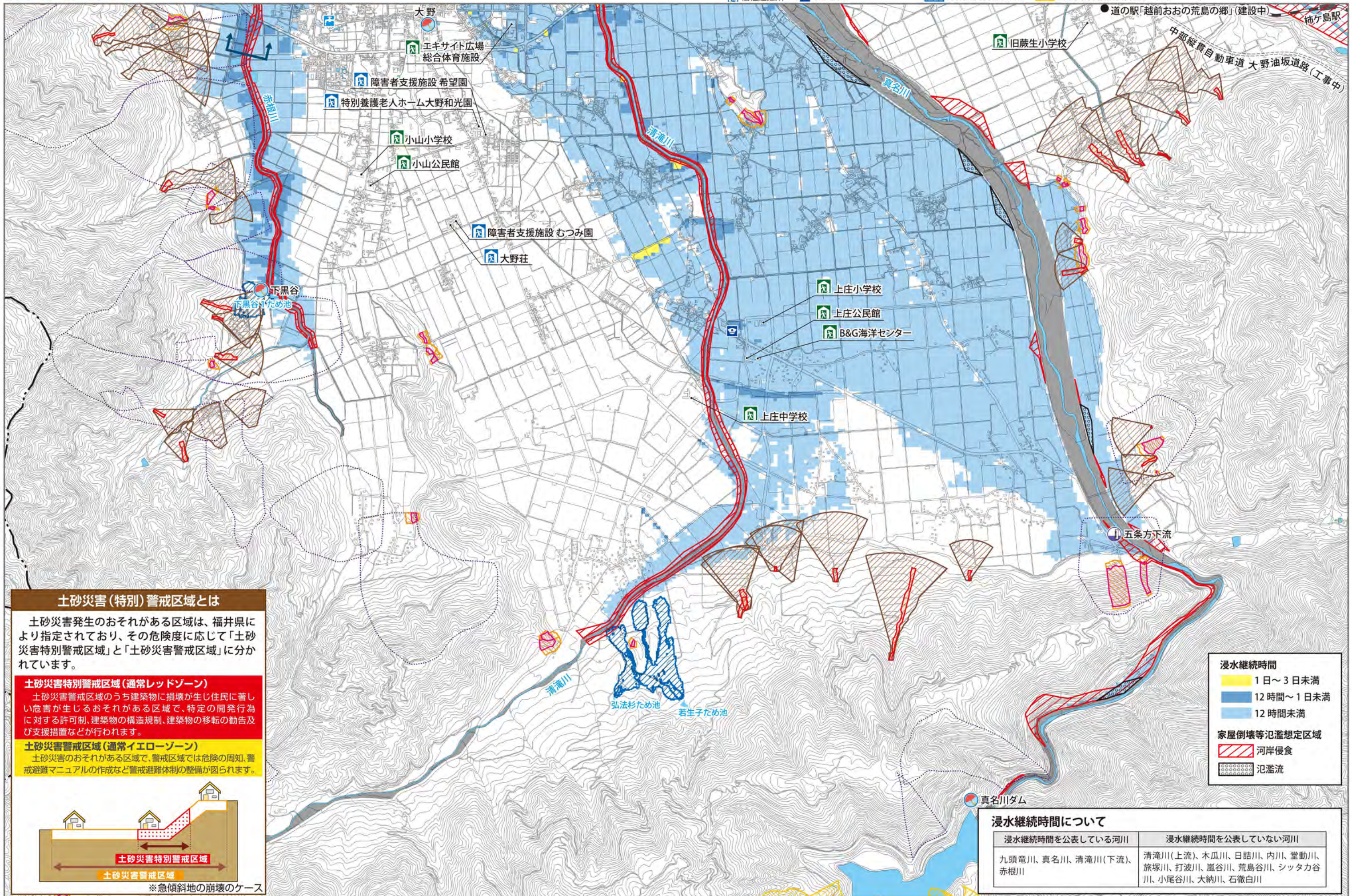
ダムの緊急放流とは
緊急放流は、「異常洪水時防災操作」と呼ばれ、通常の放流と異なって、これ以上ダムに水をためられないと想定される際に、ダムに流れこんでくる大量の水を下流に流す操作です。
この放流によって川の水位が急激に増える可能性があります。
ダム下流の住民の方は、川の水位の急な上昇や氾濫に備えて、命を守る行動をとりましょう。

ダムの事前放流とは
事前放流は、大雨によりダムの緊急放流(異常洪水時防災操作)が必要になると想定される際に、事前にダムにたまった水を下流に流し、洪水に備える操作です。
この放流によって、雨が降る前から河川の水位が上昇します。
ダム下流の住民の方は、川に近づかないようにしましょう。



浸水継続時間② (水防法の規定により指定された浸水継続時間を表示した図面です)

市役所 雨量観測所 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊) なだれ危険箇所
消防 水位観測所 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊) 0 500 1,000m
ふくいのおいしい水(湧水地) 河川監視カメラ 土砂災害特別警戒区域(土石流) 1:25,000
警察 重要水防区域 土砂災害警戒区域(土石流) 道
救急病院 ため池浸水想定区域 土砂災害警戒区域(地すべり) 橋



土砂災害(特別)警戒区域とは

土砂災害発生のおそれがある区域は、福井県により指定されており、その危険度に応じて「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」に分かれています。

土砂災害特別警戒区域(通常レッドゾーン)
土砂災害警戒区域のうち建築物に損壊が生じ住民に著しい危害が生じるおそれがある区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制、建築物の移転の勧告及び支援措置などが行われます。

土砂災害警戒区域(通常イエローゾーン)
土砂災害のおそれがある区域で、警戒区域では危険の周知、警戒避難マニュアルの作成など警戒避難体制の整備が図られます。

※急傾斜地の崩壊のケース

浸水継続時間

- 1日～3日未満
- 12時間～1日未満
- 12時間未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

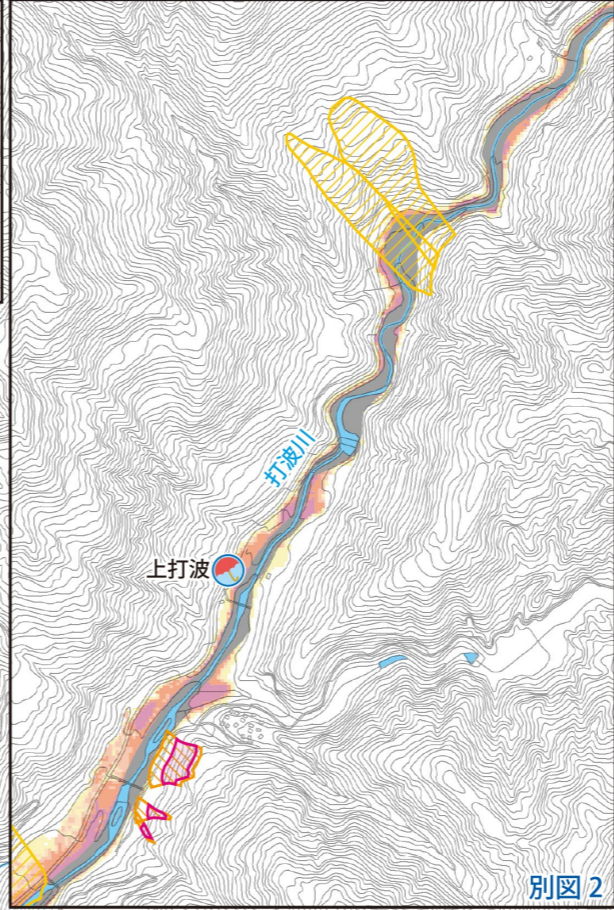
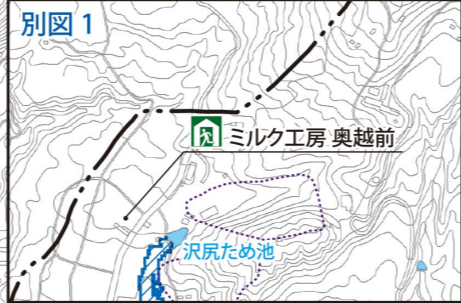
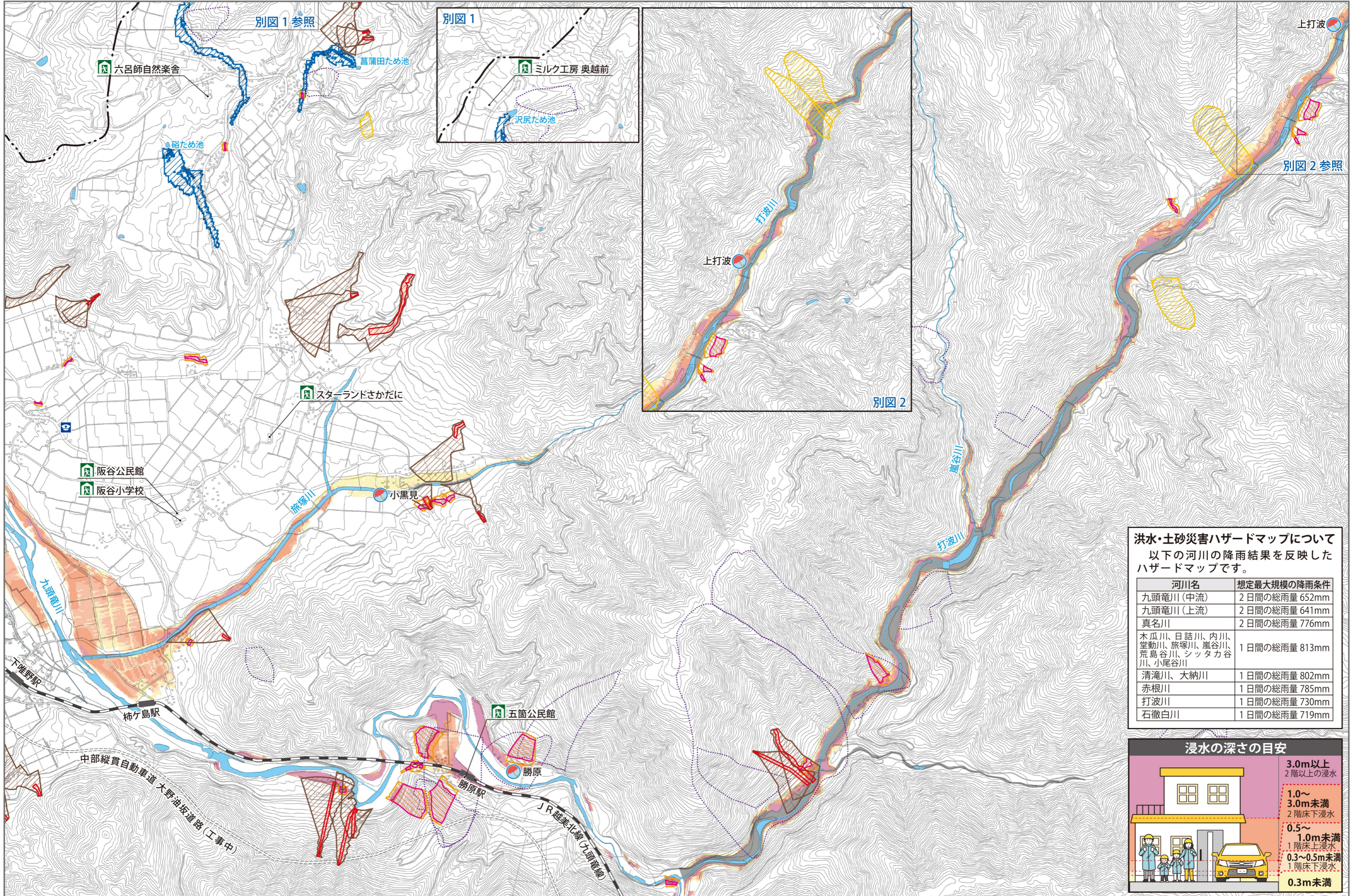
- 河岸侵食
- 氾濫流

浸水継続時間について

浸水継続時間を公表している河川	浸水継続時間を公表していない河川
九頭竜川、真名川、清滝川(下流)、赤根川	清滝川(上流)、木瓜川、日詰川、内川、堂動川、旅塚川、打波川、嵐谷川、荒島谷川、シツカカ谷川、小尾谷川、大納川、石徹白川

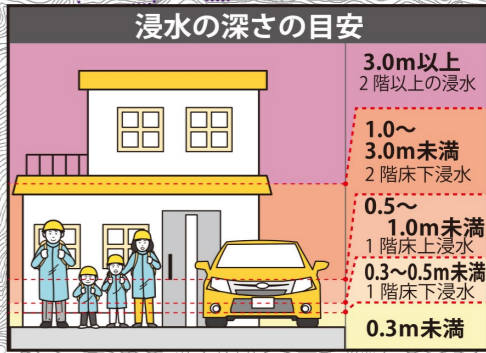
洪水・土砂災害ハザードマップ③ (1000年に一度程度の「想定最大規模」降雨の洪水浸水想定区域図です)

市役所	雨量観測所	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)	なだれ危険箇所
消防	水位観測所	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)	
ふくいのおいしい水(湧水地)	河川監視カメラ	土砂災害特別警戒区域(土石流)	
警察	重要水防区域	土砂災害警戒区域(土石流)	
救急病院	ため池浸水想定区域	土砂災害警戒区域(地すべり)	
指定避難所			
福祉避難所			



洪水・土砂災害ハザードマップについて
以下の河川の降雨結果を反映したハザードマップです。

河川名	想定最大規模の降雨条件
九頭竜川(中流)	2日間の総雨量 652mm
九頭竜川(上流)	2日間の総雨量 641mm
真名川	2日間の総雨量 776mm
木瓜川、日詰川、内川、堂動川、旅塚川、嵐谷川、荒島谷川、シッタカ谷川、小尾谷川	1日間の総雨量 813mm
清滝川、大納川	1日間の総雨量 802mm
赤根川	1日間の総雨量 785mm
打波川	1日間の総雨量 730mm
石徹白川	1日間の総雨量 719mm



洪水・土砂災害ハザードマップ④ (1000年に一度程度の「想定最大規模」降雨の洪水浸水想定区域図です)

● 市役所 ● 雨量観測所 ■ 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊) ○ なだれ危険箇所
● 消防 ● 水位観測所 ■ 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊) ○ 0 500 1,000m
● ふくいのおいしい水(湧水地) ● 河川監視カメラ ■ 土砂災害特別警戒区域(土石流) ○ 1:25,000
● 警察 ■ 重要水防区域 ■ 土砂災害警戒区域(土石流)
● 救急病院 ■ ため池浸水想定区域 ■ 土砂災害警戒区域(地すべり)

洪水・土砂災害ハザードマップについて
 以下の河川の降雨結果を反映したハザードマップです。

河川名	想定最大規模の降雨条件
九頭竜川(中流)	2日間の総雨量 652mm
九頭竜川(上流)	2日間の総雨量 641mm
真名川	2日間の総雨量 776mm
木瓜川、日詰川、内川、堂動川、旅塚川、嵐谷川、荒島谷川、シッタカ谷川、小尾谷川	1日間の総雨量 813mm
清滝川、大納川	1日間の総雨量 802mm
赤根川	1日間の総雨量 785mm
打波川	1日間の総雨量 730mm
石徹白川	1日間の総雨量 719mm

ダムの緊急放流とは

緊急放流は、「異常洪水時防災操作」と呼ばれ、通常の放流と異なって、これ以上ダムに水をためられないと想定される際に、ダムに流れこんでくる大量の水を下流に流す操作です。

この放流によって川の水位が急激に増える可能性があります。

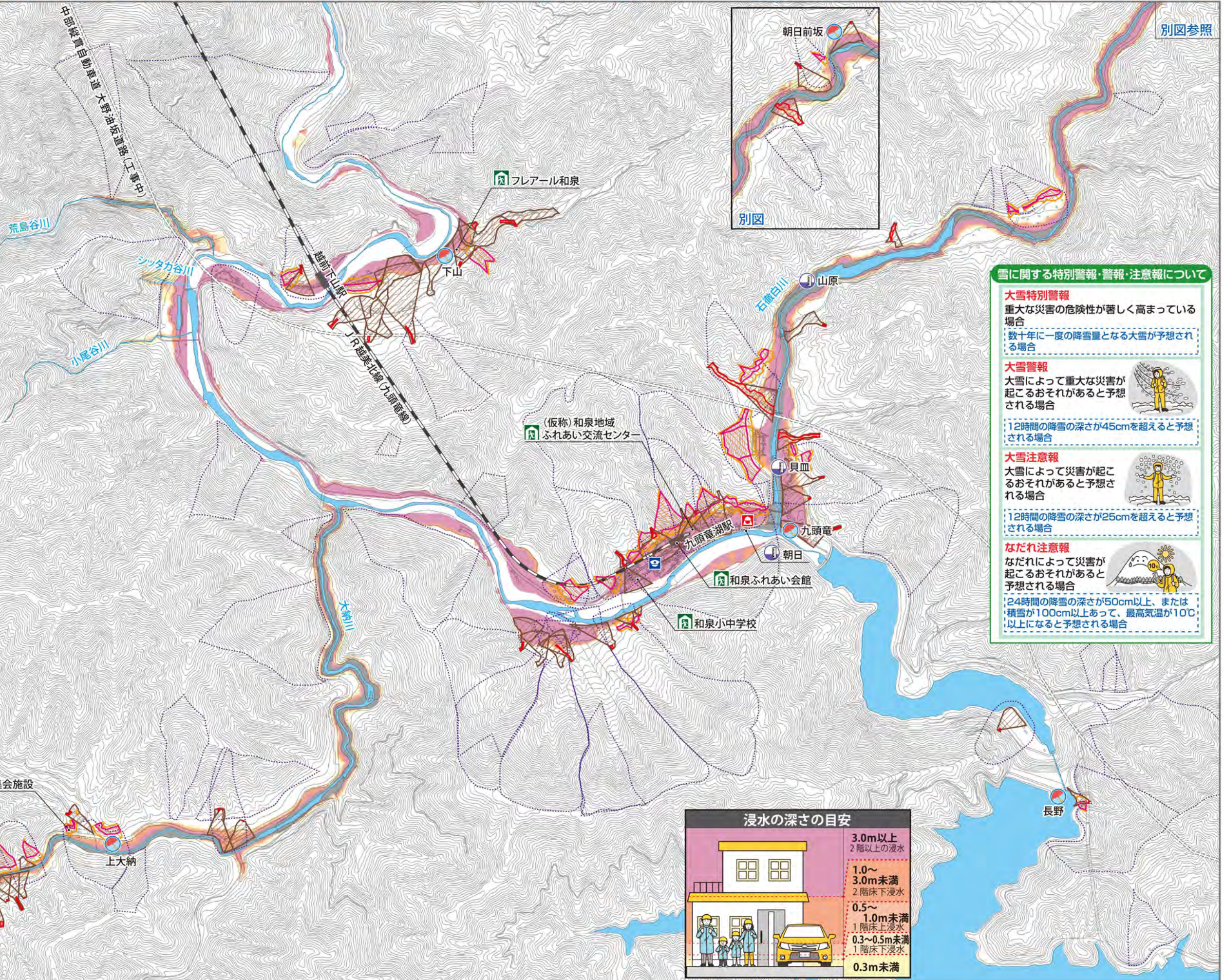
ダム下流の住民の方は、川の水位の急な上昇や氾濫に備えて、命を守る行動をとりましょう。

ダムの事前放流とは

事前放流は、大雨によりダムの緊急放流(異常洪水時防災操作)が必要になると想定される際に、事前にダムにたまった水を下流に流し、洪水に備える操作です。

この放流によって、雨が降る前から河川の水位が上昇します。

ダム下流の住民の方は、川に近づかないようにしましょう。



雪に関する特別警報・警報・注意報について

大雪特別警報
 重大な災害の危険性が著しく高まっている場合
 数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

大雪警報
 大雪によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合
 12時間の降雪の深さが45cmを超えると予想される場合

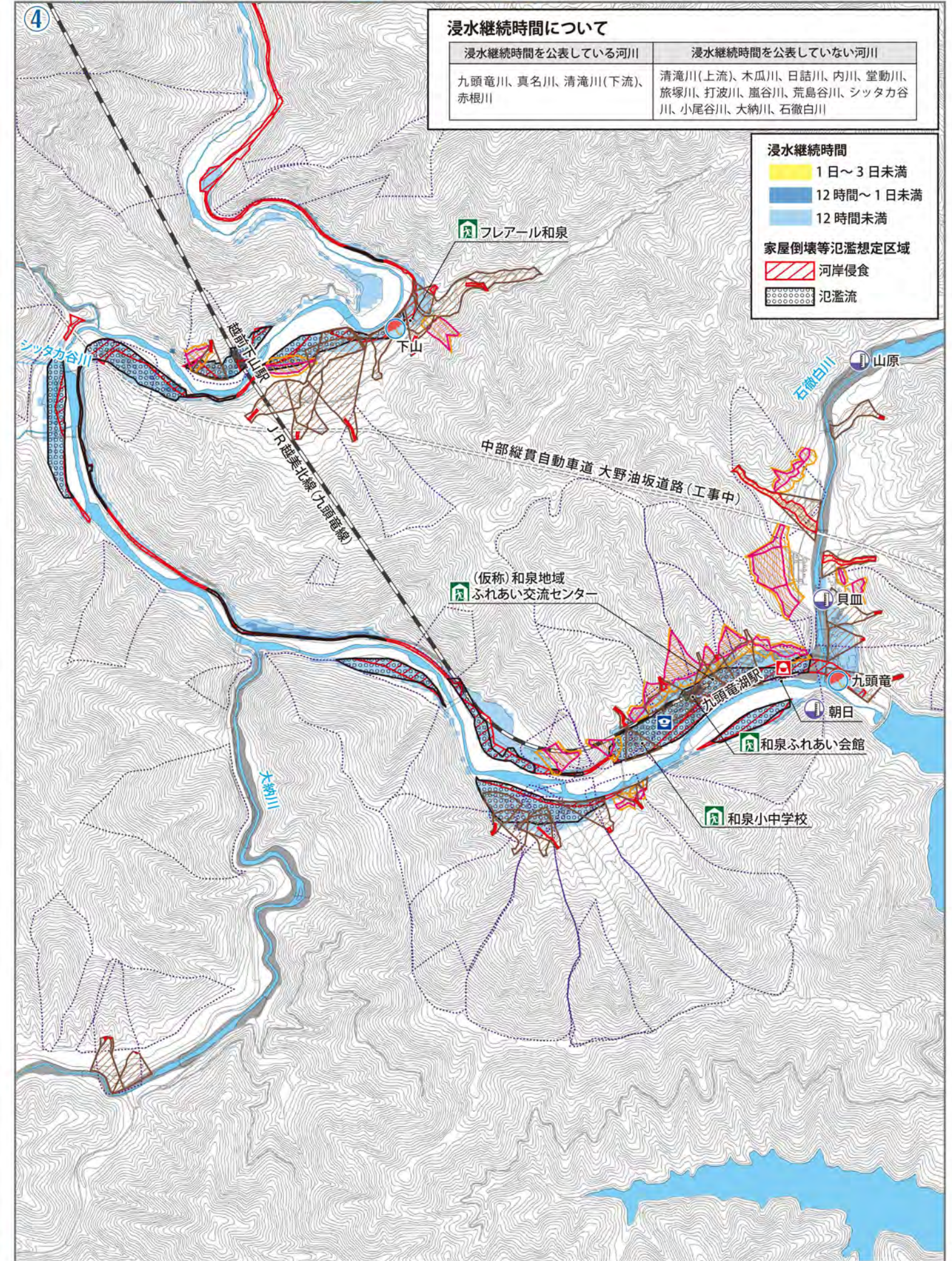
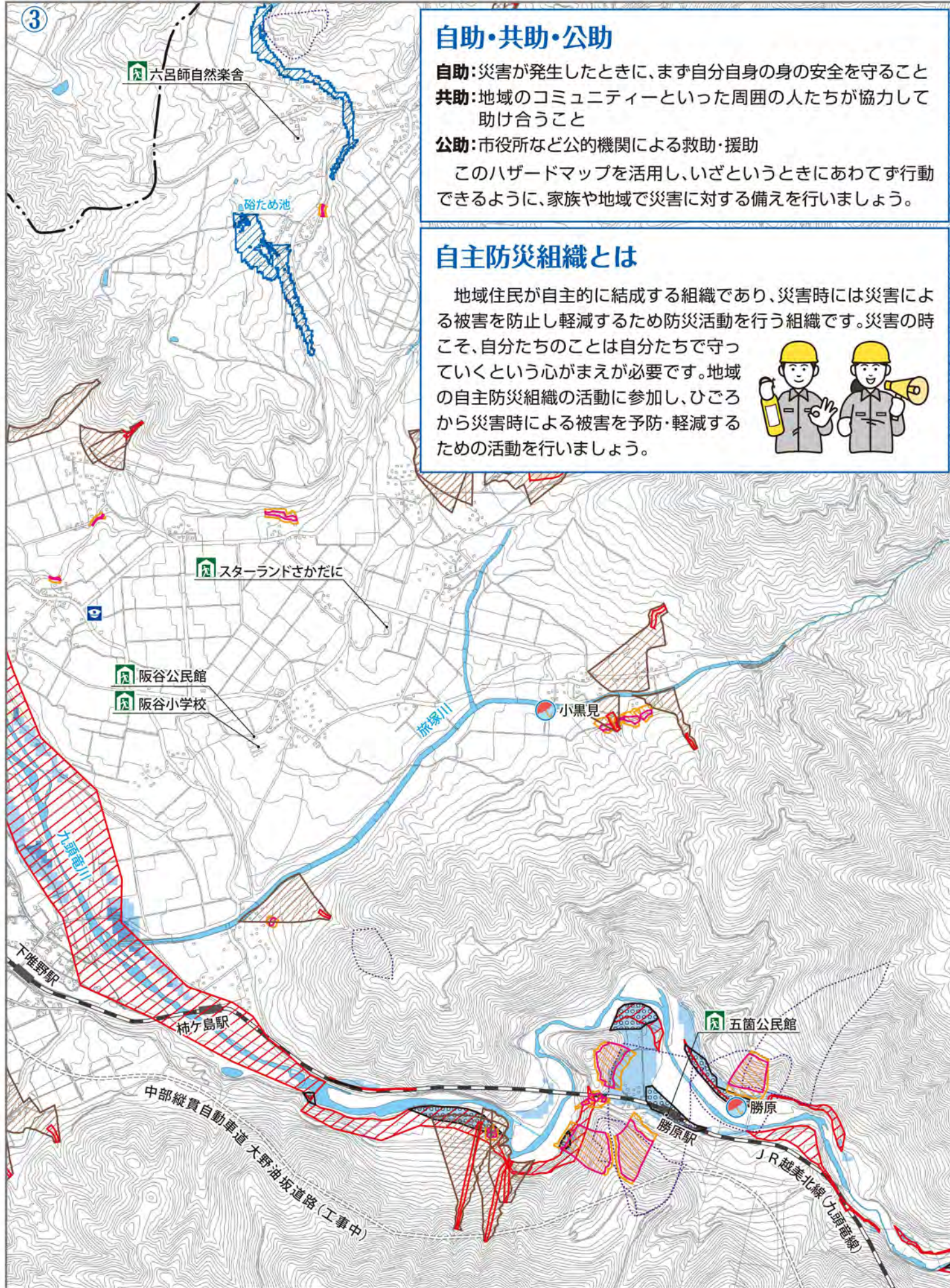
大雪注意報
 大雪によって災害が起こるおそれがあると予想される場合
 12時間の降雪の深さが25cmを超えると予想される場合

なだれ注意報
 なだれによって災害が起こるおそれがあると予想される場合
 24時間の降雪の深さが50cm以上、または積雪が100cm以上あって、最高気温が10℃以上になると予想される場合

浸水の深さの目安

3.0m以上	2階以上の浸水
1.0~3.0m未満	2階床下浸水
0.5~1.0m未満	1階床上浸水
0.3~0.5m未満	1階床下浸水
0.3m未満	

浸水継続時間③-④ (水防法の規定により指定された浸水継続時間を表示した図面です)



- 市役所
- 消防
- ふくいのおいしい水 (湧水地)
- 警察
- 救急病院
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 河川監視カメラ
- 重要水防区域
- ため池浸水想定区域
- 土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域 (土石流)
- 土砂災害警戒区域 (土石流)
- 土砂災害警戒区域 (地すべり)
- なだれ危険箇所

0 500 1,000m
1:25,000

● 非常持出品

通帳・印鑑	現金(公衆電話用硬貨など)	<p>小さなお子さんがいるご家庭では 避難所等では乳幼児向けの物資が手に入りにくい場合もあるため、以下の物なども準備しておきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> オムツなど <input type="checkbox"/> 衛生用品 <input type="checkbox"/> 粉ミルク・哺乳びん <input type="checkbox"/> マスク・体温計 <input type="checkbox"/> 離乳食・おやつ <input type="checkbox"/> 抱っこひも・おんぶひも <input type="checkbox"/> おもちゃ・絵本など
衣類・タオル 軍手・毛布	免許証・健康保険証 など	
救急医薬品 常備薬・消毒液 お薬手帳・石けん	<input type="checkbox"/> 非常用食料	
<input type="checkbox"/> 携帯電話 充電器	<input type="checkbox"/> 飲料水(500ml×6本程度)	
ラジオ・懐中電灯・電池	<input type="checkbox"/>	

非常備蓄品 備蓄の新しい考え方「ローリングストック」
ローリングストックとは、普段から自宅に少し多めの食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を備蓄しておく方法です。日常生活の中で消費しながら食料備蓄を行きましょう。

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> アルファ化米
<input type="checkbox"/> 缶詰	<input type="checkbox"/> インスタントラーメン
<input type="checkbox"/> レトルト食品	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ・ガスボンベ

● 風水害対策

<p>屋根</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アンテナが不安定ではないか。 <input type="checkbox"/> トタンがめくけていないか。 <input type="checkbox"/> 瓦のひび・割れ・はがれがないか。 <p>ベランダ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険のあるものがないか。 <p>外壁</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 壁に亀裂がないか。 	<p>窓</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 窓枠にがたつきがないか。 <input type="checkbox"/> 雨戸にがたつきがないか。 <p>雨どい</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 雨どいに落ち葉などが詰まっているか。 <input type="checkbox"/> 継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りがないか。 <p>排水溝</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 排水溝にごみや土砂が詰まっているか。 	<p>家財</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 濡れて困るものを、あらかじめ高い場所へ移動しているか。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 商店などでは看板のぐらつきがないか。 <input type="checkbox"/> 貴重品や思い出のものが、すぐに持ち出せるようになっているか。 <input type="checkbox"/> ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか。 <input type="checkbox"/> 庭木には添え木をしているか。 <input type="checkbox"/> ブロック塀が倒れそうにないか。 <input type="checkbox"/> プロパンガスのボンベが鎖でしっかり固定しているか。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

● 防災訓練

市では、自主防災組織を中心とした住民の防災意識の向上及び避難の重要性の認識を図るため避難訓練などを実施しています。いざというときに備え、訓練に参加しましょう。

● 土砂災害の特徴と前兆現象

<p>急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)</p> <p>雨や地震などの影響によって斜面が突然崩れ落ちる現象です。</p> <p>次のような前兆現象に注意し、危険を感じたら速やかに避難しましょう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小石がバラバラと落ちている ● がけから水が湧き出ている ● がけにひび割れができる 	<p>土石流</p> <p>石や土砂が、集中豪雨などによって水と一体となり、下流へ一気に流れ出す現象です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山鳴りがする ● 川の水が濁り流木が混ざる ● 雨が降り続けているのに川の水位が下がる 	<p>地すべり</p> <p>大雨などでゆるくなった斜面が、ゆっくり斜面下方へ動き出す現象です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地面にひび割れや段差ができる ● 地鳴りがする ● 沢や井戸の水が濁る ● 斜面から水がふき出す
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

● 土砂災害の避難の仕方

基本は避難場所への移動

<p>避難する時間がない場合</p> <p>緊急時は近くの鉄筋コンクリート造の建物へ避難する。木造家屋の場合は、家の中でがけが一番遠い上階の部屋などに避難する。</p>	<p>雨がやんでも注意</p> <p>雨のピークから遅れてがけ崩れが発生する場合もあるため、しばらくの間は注意する。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

● 地震時の行動

地震は突然やってきます。もしも今、突然大きな揺れが起きたら、どのような行動をとればよいのか考えてみましょう。また、さまざまな場面での地震発生を想定し、どの場面でもどのように行動したらよいか家族で話し合しましょう。

緊急地震速報!

地震発生

① まず、身を守る

まず低く! 頭を守り! 動かない!

地震はいつ・どこで起こるのかわかりません。揺れを感じたら、まずは身を守る行動をします。

② 非常脱出口の確保

玄関、窓を開けて逃げ口を確保する。

揺れがおさまったらすぐに行動しましょう

靴または底の厚いスリッパを履く

靴または底の厚いスリッパを履き、ガラスの破片や散乱物から足を守る。

周りの安全確認

倒れた家具等の下敷きになっていないか確認する。

火元の確認

ガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とす。もし火が出ていたら、あわてずに初期消火をする。

隣近所へ声かけを行う

靴または底の厚いスリッパを履き、ガラスの破片や散乱物から足を守る。

火災時には協力して初期消火

火が発生している場合は、大声で知らせ、消火器、バケツリレーなど近隣で協力して初期消火をする。

正しい情報を聞く

ラジオなどで正確な情報を収集する。市役所、消防、警察、自主防災組織などの情報を確認する。

電話は緊急連絡を優先

災害用伝言ダイヤル 171 (外出先から)

安易に電話をかけることは避け、安否の確認は「災害用伝言ダイヤル」などを活用する。

地域で協力する応急救護の体制づくり

避難後は助け合いの心で行動を

倒壊した家やその危険性のある家には入らない

水・飲料の確保

いざというときのために、ひごろから1週間分を目標に飲料水と食料を備蓄する。

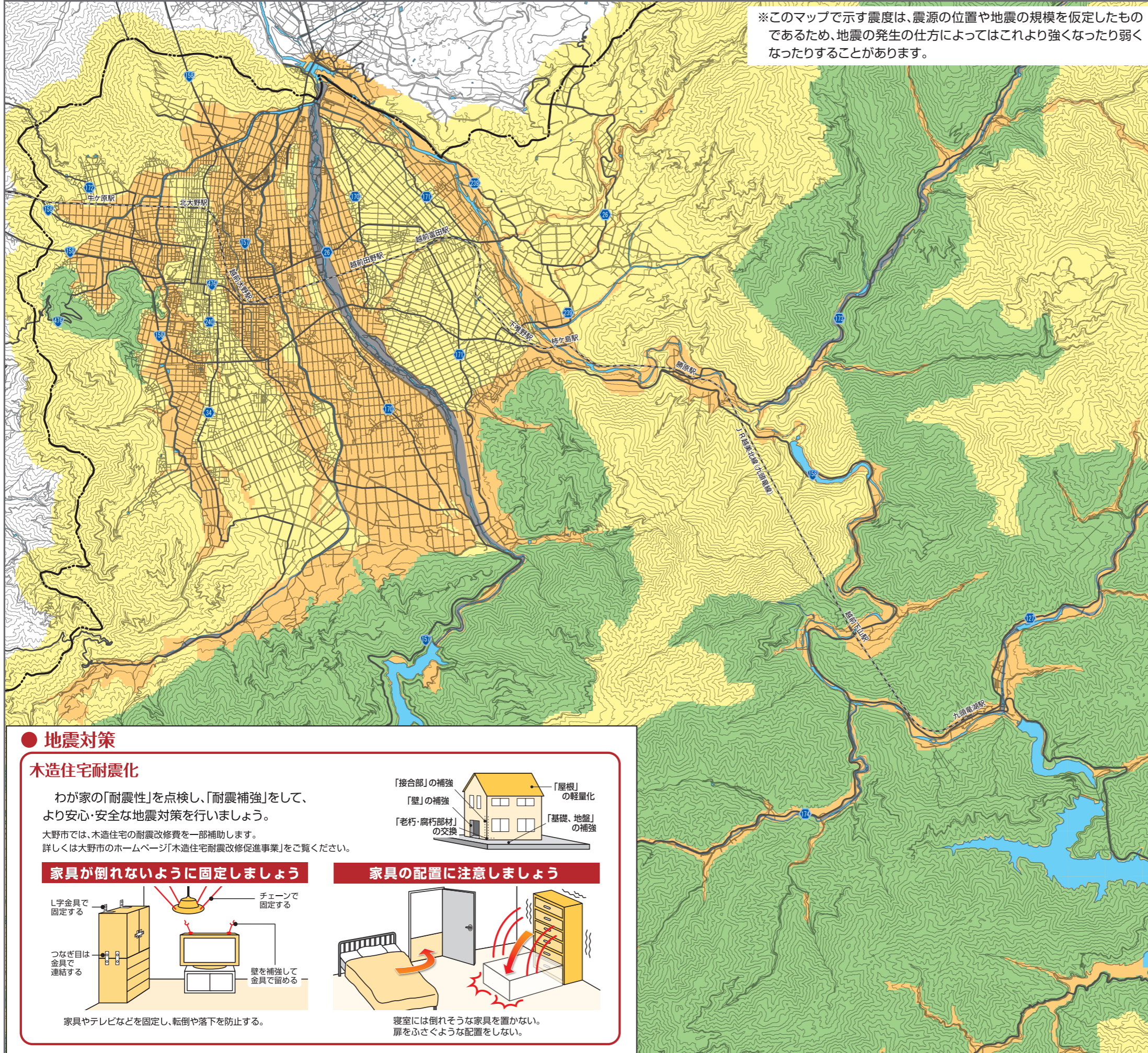
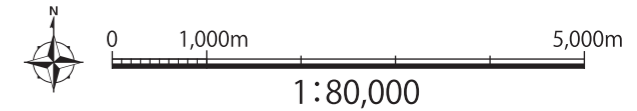
余震に注意

地震の後は数ヵ月間、強い余震が起こることがあります。油断せずに行動しましょう。

揺れやすさマップ (大野市のどの地点でも起こりうる直下型地震の想定です)

揺れやすさ(震度)

-
 震度6強
 -
 震度6弱
 -
 震度5強



※このマップで示す震度は、震源の位置や地震の規模を仮定したものであるため、地震の発生の仕方によってはこれより強くなったり弱くなったりすることがあります。

大野市直下の地震

市内のどこの地点からも、地下4kmの位置に活断層が潜在していると想定し、マグニチュード6.9規模の地震が発生した場合の震度分布です。

震度 7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。

耐震性が低い

耐震性が高い

震度 6強

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の崩壊が発生することがある。

耐震性が低い

耐震性が高い

震度 6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

耐震性が低い

耐震性が高い

震度 5強

- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度 5弱

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

液状化現象

市内のどの場所でも液状化の危険性があるので注意してください。

■液状化現象とは？

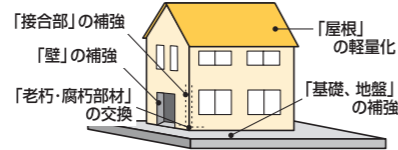
液状化現象とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが地震により激しく揺らされると、土の粒子が水と混ざり合って、一時的に液体のようにやわらかくなることをいいます。大野市には河川沿いに広がる低地部が多いため、液状化の危険性が高いと考えられます。

地震対策

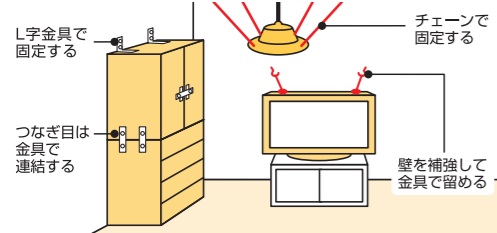
木造住宅耐震化

わが家の「耐震性」を点検し、「耐震補強」をして、より安心・安全な地震対策を行いましょう。

大野市では、木造住宅の耐震改修費を一部補助します。詳しくは大野市のホームページ「木造住宅耐震改修促進事業」をご覧ください。



家具が倒れないように固定しましょう



家具やテレビなどを固定し、転倒や落下を防止する。

家具の配置に注意しましょう



寝室には倒れそうな家具を置かない。扉をふさぐような配置をしない。